

三菱ふそう 47案件の対応進捗状況報告

三菱ふそうが市場措置を予定している47案件の進捗状況等につき、下記の通りご報告申し上げます。47案件につきましては、10月までの全件届出完了を目指し、現在全社を上げて取り組んでおりますが、引き続きお客様をはじめ社会の皆様にも多大なご迷惑をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

記

・今週の報告事項

(1) 47案件の現在までの届出状況

	～7月20日	7月21日	～7月下旬	～8月下旬	～9月下旬	～10月下旬	精査中	合計
リコール (43件)	6 (6)	1 (0)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	11 (12)	13 (13)	43 (43)
改善対策 (4件)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)

()は前回の会見の数字

- ・本日、リコールリストNo. 23「小型トラック ハイドロリックブースターへのエア混入」のリコール届出を済ませ、累計で7件のリコール届出を完了いたしました。
- ・詳細は[資料1]をご参照下さい。

(2) 今後2週間以内に届出が完了する項目

- ・今回新たにリコールリストNo. 9「小型トラック パワーステアリングサーキュレータ破損」のリコール届出を2週間以内(7月下旬)に予定しております。
- ・詳細は[資料2]をご参照下さい。

(3) 届出済み市場措置の状況

- ・大型トラック・バスのフロントハブ不具合暫定対策は、先週に比べ5%アップして55.1%になりました。
- ・大型トラックのクラッチハウジング不具合対策は、先週に比べ15%アップして29.8%になりました。
- ・詳細は[資料3]をご参照下さい。

(4) 6/14以降の事故案件について

- ・7月14日20時、山口県中国自動車道上りでの大型トラックのプロペラシャフトの脱落、18日16時、長崎県長崎自動車道下りでのローザのエンジンルーム内の火災、以上2件

につき新たにスクランブル要請がありました。

- ・詳細は [資料 4] をご参照下さい。

(5) 緊急点検、無料点検状況

- ・緊急点検台数は先週比 2.7 倍の 24,731 台、無料点検台数は同 2.7 倍の 48,743 台になりました。
- ・詳細は [資料 5] をご参照下さい。

(6) 大型車クラッチハウジングリコール届出以降の路上故障

- ・7月14日に9件の路上故障をご報告申し上げましたが、その後の状況を説明させていただきます。
- ・[資料 6] をご参照下さい。今回1件の故障情報 (No. 10) を追加致しました。

(7) 7月15日国土交通省殿 弊社川崎工場立ち入り検査

- ・国土交通省殿が同日発表された立ち入り検査結果 (19 件)、7月9日の会見で弊社がご報告申し上げた調査結果 (6 件) 等、返却品に関していくつかの数字が出ておりますので、情報を整理させていただきます。
- ・[資料 7] をご参照下さい。一番右の欄に国土交通省殿の検査結果の19件、その隣りの欄に7月9日の会見でご報告した6件につき、それぞれ 印を付記しております。

以上

対策実施予定の47案件一覧

2004.7.21

リコール一覧

三菱ふそうトラック・バス株式会社

- 1 ユー・ム届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありません。
 2 ユー・ム届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3 ユー・ム届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容	
						人身	物損	火災			
1	クラッチハウジング破損	大ト	ザ・グレート、 スーパーグレート	83/6～99/4	168,002	3	15		3/5/26届出	大型トラックのエンジンと変速機(トランスミッション)の結合部(クラッチハウジング)の剛性が不足しているものがあり、また、トランスミッション・メインシャフト後部のスプライン部と継ぎ手(アウトプットフランジ)の噛み合い部分の隙間が不適切なため、当該隙間が経年変化などで増大すると、高速走行時の駆動系振動が大きくなり、クラッチハウジングに亀裂が生じるものがある。また、クラッチハウジングに鋳造時の傷などがある場合、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、クラッチハウジングが破断してトランスミッション又はプロペラシャフトが脱落、又は周辺部品を破損させ二次的不具合を生じるおそれがある。	
2	大型トラックプロペラシャフト破損	大ト	ザ・グレート スーパーグレート の FS、FY	94/11～02/9		0	3	0	精査中	リコール実施後の車両においてタンデムプロペラシャフトを取付けているリヤリアデフのキャスルナットがゆるんで、最悪の場合ナットが外れプロペラシャフトが脱落する。	
3	バス プロペラシャフト破損	大バ	エアロクイーン、 エアロバス	91/12～02/4	266	0	2		6/15届出	流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スライダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立時に損傷する可能性がある。 そのため、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。	
4	駐車ブレーキスプリング破損	大バ 大ト	93895170クイーン 91.58339クレート FL4、FR4 エアロハブブレーキ ホイールパーク付車	92/12～98/7		0	0	0	10月下旬	スプリングが腐食して折損した場合、下記 又は の現象が発生。スプリング折損により駐車ブレーキ能力が低下する。走行中に駐車ブレーキが効き始める。折損したスプリングでダイアフラムが傷ついた場合、エア洩れが生じて、駐車ブレーキが解除できなくなる。	
5	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロント独立 懸架車)	93/11～98/12		0	0	0	精査中	ボールジョイントの樹脂ベアリングが摩耗してガタが発生し、そのままの状態で使用するとボールジョイントの金属ケースが損傷し、最悪の場合、ボールジョイントがサスペンションアームから外れ、走行不能になるおそれがあります。	
6	タイロッドボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロントリジ ットアクスル車)	93/11～98/7		0	0	0	精査中	タイロッドエンドのボールジョイントが摩耗して、走行中ハンドルに振動を感じることがあり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールジョイントがタイロッドから外れ、走行不能になるおそれがあります。	
7	燃料タンクブラケット破損	小ト	キャンター	97/2～02/5	418	0	0	0	6/15届出	燃料タンク取付金具の寸法精度並びに燃料タンクを取付金具にボルトで締結する部分の構造及び当該ボルトの締付けトルクが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルト又は取付金具をフレームに固定するボルトに緩みが発生するものがある。 そのため、そのまま使用を続けると、燃料タンクに亀裂が発生し、燃料漏れが発生するおそれがある。また取付金具に亀裂が発生し、最悪の場合、当該取付金具が破損し燃料タンクが脱落するおそれがある。	
8	駐車ブレーキケーブル破損	小ト 小バ	キャンター、 ローザ	93/11～01/3		1	0	0	10月下旬	駐車ブレーキのケーブルが、T/M後部のセンターブレーキとの係合部で折損し、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。	
9	パワーステアリングサーキュレータ破損	小ト	キャンター	93/11～97/2	15,240	0	0	4	0	7月下旬	パワーステアリングギヤボックス 内部のボール循環筒(サーキュレータ)の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。 そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレータが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。
10	デッドアクスルハブベアリング焼付き	大ト	ザ・グレート スーパーグレート の FU車(除Q25車)	89/9～00/3		0	0		13	精査中	後軸(デッド軸)のハブ内部に水が浸入しハブベアリングが焼付き、タイヤのバーストや最悪の場合車両火災に至る恐れがある。
11	フロント独立懸用アームシャフト	大バ 中バ	大型バスMS72 、MU515.525 中型バス MM526.527	82/12～95/8		0	0	0	0	精査中	前輪独立懸架装置のアップ・ダウンに亀裂が発生し、このままの状態で使用を続けると最悪の場合アップ・ダウンが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがある。
12	T/M ニードルベアリング焼き付き	大ト 大バ	スーパーグレート、 大型バス	00/3～02/12		0	0	0	0	精査中	3rd.4thのニードルベアリングの焼き付きにより、T/M操作不能、ギヤ入り不良、ギヤ抜け、異音が発生する。
13	キャブチルト警告灯不良	中ト	ファイター (手動チルト車)	精査中		0	0	0	0	10月下旬	キャブチルトロックが解除しているにもかかわらず、キャブチルトウォーニングランプが点灯しないおそれがあります。
14	キャブフックかかり不良	中ト	ファイター (手動チルト車)	精査中		1	1	0	0	10月下旬	フックコントロールレバーが下がりにくい位置でチルト操作をすると、フックとシャシ部品が干渉してフックが変形し機能しないおそれがあります。最悪の場合、急制動時フックが外れキャブが前に倒れるおそれがあります。

- 1 コー#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2 コー#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3 コー#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
15	リアリーフスプリングのハンガーブラケットからの脱落	大ト	スーパーグレート の FUトラニオンサ スペンション車	96/4~00/12		1	1	0	10月下旬	FUトラニオンサスペンション車において、高重心の積載をした状態で急な旋回をした時に、旋回内側の後々軸リーフスプリングアクスル側ブラケットのリバウンド押さえの爪部から外れることがある。

1.3号車届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2.3号車届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3.3号車届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容	
						人身	物損	火災			
16	リアアクスルチューブ破損	大ト	ザ・グレート スーパーグレート の低床車 FN4,FS4,FS5,F Y5	83/7~98/12		0	0	0	10月下旬	リアアクスルチューブがアクターベアリング付近で折損し、走行不能になるおそれがある	
17	非常ドアの開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (非常口付車)	97/10~04/6	3,668	0	0	0	7月下旬	走行中に非常扉の警報ブザーが鳴ることがありそのままの状態で行った場合、非常扉開放の恐れがある。	
18	ABS/EZGO ハイドロユニット不具合	小ト 小バ	キャンター, ローザ (ABS/EZGO, A BS/EZGO/ASR 装着車)	93/11~02/3		0	0	0	精査中	ブレーキの油圧を制御するハイドロリックユニット(HU)内部の故障により、ブレーキペダルのストロークが増加し、制動力が低下するおそれがあります。	
19	スプリングブレーキエアチャンバーブラケット破損	中ト	ファイター	99/5~02/2	108	0	0	0	7/14届出	後2軸車において、後々軸のスプリング式駐車ブレーキチャンバー取付金具(ブラケット)の強度が不足しているため、走行中の振動等により当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ブラケットが破損し駐車ブレーキ能力が低下して、最悪の場合、チャンバーが脱落し、当該後々軸の駐車ブレーキが作動不能になる、又は、エアホースが損傷してエア漏れを生じるおそれがある。	
20	スプリングブレーキチャンバーへの水侵入	中ト 中バ	ファイター エアロミディ	99/3~00/6	1,760	0	0	0	7/14届出	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、チャンバー本体とホイールシリンダとの接続部のシール材の塗布が不適切なため、チャンバー及びホイールシリンダ内に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホイールシリンダ内部及びウエッジが錆びついて破損し、あるいは、冬期に凍結し、駐車ブレーキが作動不良となるおそれがある。	
21	ホイールパークウエッジ破損	大ト 大バ	エアロミディ, エアロミディ のバス、スーパー グレート	92/12~98/7		0	0	0	10月下旬	駐車ブレーキ用ウエッジ部が破損し、駐車制動力が低下する。(ウエッジ部破損輪のみ)	
22	ホイールパークウエッジ破損	大ト 大バ	大型バス 98MS8,スーパー グレート98FU5 フレッシュスタイル パーク仕様車 (FUはオプション)	97/12~98/12	552	0	0	0	7/14届出	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウエッジロット先端部のローラに熱処理が不適切なものがある。そのため、当該ローラが早期に破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。	
23	ハイドロリックプースタへのエアの混入	小ト	キャンター (ハイドロリック プースタ装着 車)	99/3~04/5	9,018	1	3	0	7/21届出	ハイドロリックプースタASSYの故障により、フロントブレーキオイルラインにエアが混入し、徐々にペダルのストロークが増加して、制動力が低下するおそれがあります	
24	プロペラシャフト脱落	大ト	スーパーグレート の FV514HR (M130S2×5 T/M搭載車) FV540HR	精査中		0	0	0	精査中	後前軸インプット部エンドヨークを止めるキャスルナットが緩み、プロペラシャフトが脱落する。	
25	チェーントランスファオイル洩れ	中バ	中型バス Mk126 (T- Drive)初号~ 93MJ (84/12 ~93/9生産車)	84/12~93/9		0	0	0	9/10月下旬	連続高速走行時チェーントランスファー内油温が上昇し、ブリーザーからオイルが噴出することがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。	
26	フライホイールリングギアの磨耗と破損	大バ	大型バス MP3(6M7)	00年モデル初号~04/2		0	0	0	2	精査中	リングギアにスターバネが引っ掛かり、スタータが回転しなくなる。(エンジン始動不良)この状態でスタータON操作を繰り返した場合は、スタータメカニカルコイルがショートし、スタータとスタータル間のバネに大電流が流れ、スタータメカニカルが焼損する恐れがある。
27	フロントハブベアリングへの水侵入	小ト	キャンター (フロント独立 懸架車)	02/4~04/3		0	0	0	9月中旬	フロントハブインナーベアリングの発錆・損傷によりフロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動、またはガタが発生し、最悪の場合、走行不能となるおそれがあります。	
28	フロントハブベアリング焼き付き	大ト	スーパーグレート の FS車	精査中		0	0	0	1	精査中	フロントハブアウトベアリングに焼き付きが発生する
29	フロントハブベアリング焼き付き	中ト 中バ	ファイター,エア ロミディ	精査中		0	0	0	8月下旬	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。	

1 コー#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2 コー#届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3 コー#届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
30	ハブ破損 (ベアリング破損による)	中ト 中ハ	ファイター,エア ロディ	精査中		0	0	0	8月下旬	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ、振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1. 3/30届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありません。
 2. 3/30届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありません。
 3. 3/30届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありません。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
31	A/T オイルホース破損	中ト	ファイター (3速オートマチック トランスミッション車)	92/7~97/8		0	0	1	9月下旬	A/T油温上昇によりA/Tオイルクーラホースが破損して、オイルもれが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。
32	インジェクションポンプラックの破損	大ト 大バ	8DC11搭載 大型トラック・バ ス・ クレーン車 総 輪駆動車	95/1~95/11		0	0		9月下旬	噴射ポンプのコントロールラックが折損し、エンジンが吹け上がる。
33	キャブ電源ハーネスの損傷	大ト	スーパーグレート	96/6~01/2		0	0	0	9月下旬	キャブ前面の電源ハーネスの被覆が損傷・断線し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある
34	燃料パイプクランプの脱落	小ト 小バ 中ト	キャンター、ロー ザ、ファイター NX (4M5型エンジ ン搭載車)	99/3~00/8		0	0	31	10月下旬	噴射管クランプが脱落し、スタータ電源に配線されているS端子付近に落下する可能性があり、その場合、エンジン始動時、あるいは始動直後の走行時にショートしてスタータハーネス等から発煙し、最悪の場合、発火するおそれがあります。
35	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	大ト	スーパーグレート の FV-R,FP-R (8M22T, 6M70T搭載車)	00/6~00/12		0	0	5	8月下旬	箱型マフラーのドラム部栓溶接際より亀裂し、高温の排気ガスが洩れるおそれがある。
36	TC エンジンリアマウント破損	大ト	スーパーグレート (6M70搭載車)	00/1~01/5		0	0	0	9月下旬	エンジンリアマウントラバーの金具とラバーの際に亀裂が発生し、最悪の場合、エンジンリアマウントラバーが破損して、エンジン、トランスミッションが搭載位置からずれるおそれがある。
37	A/T油温上昇	中ト	ファイター (3速オートマチック トランスミッション車)	92/7~97/8		0	0	0	10月下旬	A/T油温の上昇によりA/T内部の部品に異常が生じ、走行中に変速不能となったり、発進不能となるおそれがあります。
38	アックスルシャフト破損	大ト	ザ・グレート FT	83/7~95/4		1	0	0	精査中	急発進等でリアアックスルシャフトに急激な力が繰り返し加わると、最悪の場合、リアアックスルシャフトが亀裂破損する
39	ナックルアーム破損	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (パワーステア リング装着車)	85/10~89/3		0	0	0	精査中	ナックルアームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合ナックルアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがあります。
40	キャブハーネス不具合によるスタータ焼損	小ト	キャンター	95/4~95/10		0	0	0	9月下旬	キャブ内中央付近のハーネス内で、ワイパー作動時にワイパーリンクとハーネスが干渉し、ハーネスがショートして電装品の作動に異常(ワイパー作動時、ウォッシングランプ点灯やスタータが回るなど)をきたすおそれがあります。

1. コーノ届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した車種ですが今後変更もありえます。
 2. コーノ届出済以外の案件については、6/30日記者会見で公表した生産期間ですが今後変更もありえます。
 3. コーノ届出済以外の案件については、6/14日記者会見で公表した件数ですが今後変更もありえます。

No.	項目	区分	車種 ¹	生産期間 ²	台数 (生産台数)	不具合件数 ³			届出進捗 (届出予定)	不具合内容
						人身	物損	火災		
41	ナックルアームボールスタット破損	小ト	キャンター (広幅車)	89/10~91/5		0	0	0	8月下旬	ナックルアームボールスタットに亀裂が発生し、そのままの状態で使用続けると最悪の場合ナックルアームボールスタットが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがあります。
42	排気パイプ亀裂	大バ	大型バス93E デル MS8 大型バス95E デル MS8, MU6	92/10~96/8		0	0	1	10月下旬	排気フロントパイプが亀裂し、同パイプ上側にあるハーネスを溶損する可能性がある。
43	T-ドライブシステム脱落	中バ	中型バスMK (T-ドライブ車) 中型バスMJ全車	85/4~95/8		0	0	0	精査中	走行中に車体後部から異常振動・異音が発生する。そのまま走行し続けた場合、トランスバースギヤボックスインプット部コンパニオンフランジのガタが増大し、フライホイールハウジングのトランスバースギヤボックス取付部が破損する恐れがある。

改善対策一覧

1	AT車のPレンジ不良	小ト 小バ	キャンター, ローザ (オートマチック トランスミッション 装着車)	90/11~01/9		0	3	0	精査中	レンジセレクトレバーをP・レンジにシフトして急坂路に駐車した時、オートマチックトランスミッション内のP・レンジギヤが機能しないことがあり、駐車ブレーキが引かれていない場合、あるいは引きが甘い場合、車両が動き出すおそれがあります。
2	荷物扉開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (観音扉付き車)	97/10~02/3	1,078	0	0	0	7月下旬	走行中にキャッチからロックが外れ、観音扉が開放する恐れがある。
3	急ブレーキ時に非常扉シート倒れ	大バ 中バ	大型バスMS7.8 MP2.6,3.7 中型バスMJ (路線) MK MV3.8 ME	(80年以降を調査)		5	0	0	8月下旬	急ブレーキ時にバランスを崩した乗客が非常口横のシート(前転倒式)の背もたれにつかまると、シートの上カバーが外れ、シートが前に倒れる。
4	T/M シフトワイヤ破損	小ト	キャンター	99/3~00/3		0	0	0	8月下旬	シフトワイヤを中間で固定するクランプに取付け角度の不適切なものがあり、それによりワイヤの曲げ(R)が小さくなり、最悪の場合、シフトワイヤが折損するおそれがあります。

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

資料2

(1/2)

今回追加の案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出予定日
9	パワーステアリングサーキュレータ破損	リコール	小型トラック キャンター FE6	15,240台 '93/11 ~ '97/02	12,562	7月下旬

先週までに発表した届出予定案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数	届出予定日
17	非常ドアの開放	リコール	小型バス ローザ BE6,BG6	3,668台 '97/10 ~ '04/06	3,568	7月下旬
2	荷物扉開放	改善	小型バス ローザ BE6,BG6	1,078台 '97/10 ~ '02/03	1,052	7月下旬

今後2週間以内に届出準備が完了する項目

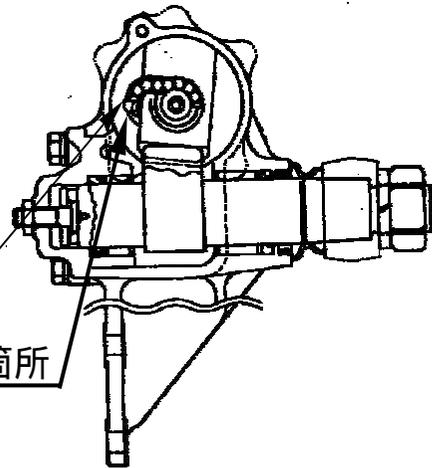
資料2

(2/2)

リコール	9 パワーステアリング サーキュレータ破損 (小型トラック)	生産15,240台 '93/11 ~ '97/02	実登録台数 12,562台
------	-----------------------------------	------------------------------	------------------



【ギヤボックス上面断面図】



サーキュレータ

基準不適合発生箇所

小型トラックのパワーステアリングギヤボックス内部のボール循環筒（サーキュレータ）の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。
そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレータが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。

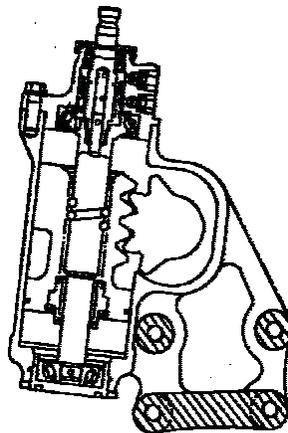
改善内容

全車両、パワーステアリングギヤボックスを対策品と交換する。

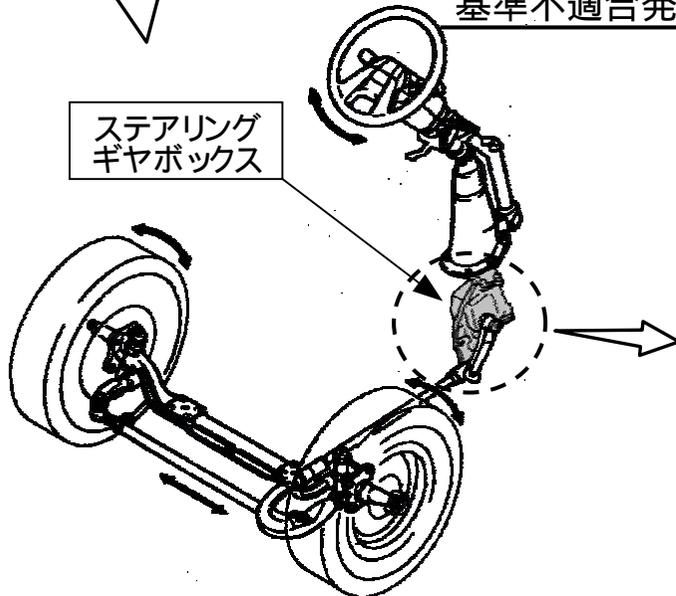
なお、対策品の全数供給に時間を要するため、当面の暫定措置としてハンドル作動を確認し、引掛かり感や渋り等の異常が認められた場合は、対策品と交換し、問題の無い車両については後日対策品と交換する。

併せて、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作をしない様に、その旨をダイレクトメールに記載しユーザに注意を喚起する。

【ギヤボックス側面断面図】



ステアリング
ギヤボックス



注：□ は、交換部品を示す。

商品情報 連絡書件数 〔初回情報〕 97/6月	不具合件数			指示改修
	人身	物損	火災	
13	0	0	0	無し

6/14会見発表時は物損1件としていたが、その後の情報精査の結果、このリコールとは無関係であったため、商連書、物損それぞれ1件除外した。

市場措置実施状況 (7月17日現在)

資料3

1. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年6月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年3月24日・1056), (04年4月22日・1076)	217,407 (83年7月11日~'03年2月3日)	105,890	58,304 (53,004)	55.1% (50.1%)	—	—
2	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年4月15日・1072)	21,769 (89年8月31日~'92年11月6日)	10,314	2,776 (2,072)	26.9% (20.1%)	—	—

(注)フロントハブ暫定対策品の強度報告資料を国土交通省に提出済

()内数値は、7月9日時点の数値を示す。

2. 対策実施予定47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年6月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコ-ル (04年5月26日・1092)	168,002 (83年6月2日~'99年4月27日)	73,787	22,019 (11,064)	29.8% (14.8%)	0	0%
2	キャンター (レ-トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1083)	418 (97年2月28日~'02年5月31日)	393	—	—	128 (92)	32.6% (23.3%)
3	MS8流体式リタ-ダ装着車プロペラシャフトエンドコ-ク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1111)	266 (91年12月21日~'02年4月10日)	264	—	—	45 (37)	17.0% (14.0%)
4	MS8 fU5 スプリング式駐車ブレーキ ウェッジ不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1112)	552 (97年12月12日~'98年10月21日)	547	集 計 中			
5	ファイター スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1166)	108 (99年5月12日~'02年2月14日)	108	集 計 中			
6	ファイター・エアロゾディー スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1167)	1,760 (99年3月10日~'00年6月14日)	1,722	集 計 中			

()内数値は、7月9日時点の数値を示す。

No.4,5,6は、7月14日届出案件を示し実施台数集計中の為次回報告します。

3. 47案件以外の届出項目の実施状況 (6月14日記者会見以降届出項目)

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年6月末現在)	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型バス リヤブレ-キホ-ス不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1110)	620 (00年6月28日~'02年3月7日)	607	—	—	255 (216)	42.0% (35.6%)

()内数値は、7月9日時点の数値を示す。

6/14以降の事故案件について

網掛け部が前回会見に対して追加 変更した箇所を示す。

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	47項目以外の該当リコール案件
14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	FK515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、 更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ブレーキ系も作動テストにて異常なくしたが、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡 同乗者骨折	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川工先下り坂でブレーキを使用したところ、 ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。デット軸左側の内側の部分から出火 デット軸左側のみベアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 デット軸ハブベアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み)
18日02時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・フロント及びデット軸のブレーキ引きずりが発生。引きずりの原因は現在調査中。 ・エアマスタ作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキフルードから分析及び詳細調査の予定。鉱物油と思われる成分および黒い沈殿物を抽出。 分析及び調査の予定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、 亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
18日04時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、 横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、 衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・エンジンECUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 デット軸ハブベアリング緊急点検対象
21日04時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	ドライブ軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。ドライブ軸ハブベアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・左ドライブ軸のインナタイヤのワイヤが露出し、タイヤバーストと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウイング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・デット軸右輪のアウトバーベアリング焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキライニング下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリア3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・4輪のハブベアリング、グリスを調査予定。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	デット軸ハブベアリング緊急点検対象
23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	済 (6/30日)	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し。ABS装置も診断結果エラー無(問題無し)。 ・車両として正常であり問題無いと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ABSプログラム 改善対策対象車
24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	済 (7/14日)	走行中エンジン吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところ セルモーター付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。 ・エンジンオイルの残量が異常に少なく、更に、エンジン周りに多量のオイル漏れが発生していることから、 オイル不足からベアリング焼け付き、コンロッド破損に至ったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済 (7/7日)	車体から白煙が見えたので停車、エンジンルームから炎が出ているので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キ-スイッチリコールとの関連性は少ない。 ・エンジンルームは全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く 延焼したものが、火元かの判別は困難である。 ・現在、焼損部品(オルタネータ、燃料パイプ類)を個別に調査中。	なし	関連性不明 (警察調査結果待ち)	スターター-キ-スイッチリコール対象 (2003年6月措置済)
7/7日14時	埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km	FE437EV 90年8月登録	済 (7/13日)	走行中、突然ホーンが鳴りつ放し。ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 車両を路側に停めるとキャブ炎上、消防車出動し消火するが、キャブ、エンジン、ホーター全焼。 ・エンジン左側ブロックより第4気筒目のコンロッド突き出し。エンジンオイル残量なし。 ・潤滑不良によるエンジン焼け付きと思われ、オイル管理に問題ないかメンテナンス状況を今後調査。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/14日20時	山口県 中国自動車道上り 美弥インター付近	FV415JR 93年5月登録	未 (7/21日予定)	プロペラシャフト脱落。テレフォンセンターより連絡あり。後続車のりあげ事故あり。(詳細不明)	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
7/18日16時	長崎県嬉野町 長崎自動車道 下り嬉野町	BE632G 98年11月登録	未 (日程調整中)	走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。 このあと出火し、エンジンルーム内の焼損で済んでいる。	なし	関連性不明	スターター-キ-スイッチリコール対象 (2002年4月措置済)

緊急点検、無料点検実施状況 (7月17日現在)

項目	点検実施台数							DM チラシ 発送数
	大型トラック	中型トラック	小型トラック	大型バス	中型バス	小型バス	合計	
緊急点検	6,583 (3,245)	4,777 (1,328)	10,363 (3,346)	1,172 (549)	594 (208)	1,242 (435)	24,731 (9,111)	257,000 (205,000)
無料点検	14,372 (5,948)	8,955 (3,154)	19,544 (6,996)	1,506 (575)	1,258 (542)	3,108 (1,094)	48,743 (18,308)	392,000 (310,000)

()内数値は、7月9日時点の数値を示す

大型車クラッチハウジング緊急点検実施体制

販売会社にクラッチハウジング点検の「専任チーム」を設置し、点検作業を実施中。

専任チーム 2名一組 販売会社メカ335名、三菱ふそう応援者335名 合計670名を派遣済み。

今週中に350チーム以上 (700名以上)に増員予定。

・「専任チーム」の他、販売会社と当社との連絡を密にするために、三菱ふそう本社 (品川) から販売会社に合計42名を駐在員として派遣した。今週中に50名以上に増員予定。

大型車クラッチハウジングリコール届出以降の路上故障(破断発生状況)

資料6

注1 太枠は、7月14日報告済の項目を示す。

2:* 1は人身及び物損事故は無し。

No	シャシ	発生日	走行	調査品			発見動機		自損 *1	商連書情報	発生場所
				返却日	現品有無	返却品	亀裂有無	路上故障			
1	FV419J	040602	598,293	6/21	7/1廃却	C/L Hsg	有り (全周亀裂)			高速道走行中、異音発生と共に走行不能となり停止。レッカーにて入庫。クラッチハウジング亀裂、ペラ脱落、燃料タンク及びその他周辺破損。	東京都首都高速駒形インター付近
2	FV419PZ	040609	474,952	6/16	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)			走行中、振動大との訴え有り、作業現場へ出張点検結果、クラッチハウジングに亀裂を確認。レッカーで入庫。	静岡県小笠郡大東町の作業現場
3	FV419J	040529	623,573	6/11	有り	T/M Assy	有り (全周亀裂)			走行中大きな音と激しい振動発生、走行不能となりそのまま惰性で走行、道の駅に入場。車体下確認した処クラッチハウジング破損しT/Mぶら下がっており、プロペラシャフト脱落し付いていない。レッカーにて工場搬入。	静岡県国道1号バイパス新富士川橋
4	FV411J	040624	910,475	7/7	有り	T/M Assy ペラ等	有り (全周亀裂)			走行中T/Mのケースが破断し、脱落しそうになっているとの連絡有り。レッカー業者にて工場入場。 T/Mケースがクラッチハウジング後部で破断し、輪切り状態になっている。プロペラシャフトヨークが抜け落ちて無くなっている。	埼玉県大宮バイパス宮前町付近
5	FP411D	040529	935,564		返却 依頼中					高速道工出口にて、T/M不良にてシフト不能、オイル漏れで動けない為レッカーにて入庫。T/Mケース前部に亀裂が入り、オイル漏れを起こしていた。	京都府名神高速京都南工付近
6	FV419RZ	040603	414685以上 (メタ交換歴有)		返却 依頼中					クラッチ踏み代変化し、2速・3速へのギアシフト硬い。走行中のシフトダウンが出来ない。高速走行時、焼けた様なおいがした為クラッチディスクの残量点検して欲しい。以上の申し出にて工場入庫。 クラッチハウジング左上部約1/3を残して円周状に割れていた。クラッチハウジング取付ボルトは4本脱落。	滋賀県京滋ふ栗東工場へ入庫
7	FV429M	040611	239,495	7/13	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)			異音発生。走行中止。クラッチハウジングに亀裂発生し、自走にて修理工場入場	北海道中標津付近
8	FP414D	040704	638,575		返却 依頼中					西名阪自動車道を走行中シフトチェンジしたところガッキと異音発生しプロペラシャフト脱落、T/Mオイルが洩れていた。T/Mケースのクラッチハウジング接合面で亀裂。	奈良県西名阪道、法隆寺工付近
9	FV416P	040710	275,358		返却 依頼中					高速道走行中、突然出力が落ち(No1ペラが約400m後方に有り)、直後チェンジレバーが大きく振れトーンと音がした為、惰力でバス停に車を止めた。レッカー搬入。No1ペラシャフトジョイント破損脱落。スパイダーに焼付き見られず(前後共)。クラッチハウジング全周より亀裂。T/M前側は残り、後側は地面に落下。引き摺って走行。燃料タンク一部ペラにて損傷。	熊本県九州自動車道下り(熊本～益城)
10	FV416P	040527	1,154,468		返却 依頼中					クラッチフィーリング不良、シフト時ギア鳴りの申し出あり。クラッチハウジング亀裂を確認。亀裂はクラッチハウジングの下側半周に及んでいる。	福島県の販社に点検入庫

7月15日国土交通省立入検査に係る大型車クラッチハウジング等返却品調査状況

資料7

04.7.21

三菱ふそうトラック・バス株式会社

No	シャシ	発生日	走行	調査品			発見動機			自損 *1	*1 人身及び物損事故は無し、 *2 -は不明 *3 資料6に記載のもの	品統部		品管部		7/9 プレス 発表	7/15 MLIT 報告	
				返却日	現品有無	返却品	亀裂 有無	不具合	路上 故障			リコール 点検	商連書 受付日	調査 指示日	情報 入手日			商連書 入手日
1	FS415R	040526	151,857	6/2	7/1廃却	C/L Hsg	無し											
2	FV419J	040529	623,573	6/11 *3	有り	T/M Assy	有り (全周亀裂)				走行中大きな音と激しい振動発生、走行不能となりそのまま惰性で走行、道の駅に入場。車体下確認した処クラッチハウジング破損しT/Mぶら下がっており、プロペラシャフト脱落し付いていない。レッカーにて工場搬入。	静岡県国道1号バイパス新富士川橋	2004/6/2	2004/6/4	040526	040604	2004/6/4	1 4 日 発表
3	FV416R	040611	327,670	6/15	有り	C/L Hsg	有り											
4	FV419PZ	040609	474,952	6/16 *3	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)				走行中、振動大との訴え有り、作業現場へ出張点検結果、クラッチハウジングに亀裂を確認。レッカーで入庫。	静岡県小笠郡大東町の作業現場	2004/7/13	2004/7/13	040615	040616	2004/7/13	
5	FV419J	040602	598,293	6/21 *3	7/1廃却	C/L Hsg	有り (全周亀裂)				高速道走行中、異音発生と共に走行不能となり停止。レッカーにて入庫。クラッチハウジング亀裂、ベラ脱落、燃料タンク及びその他周辺破損。	東京都首都高速駒形インター付近	2004/6/11	2004/6/15	040602	040602	2004/6/15	
6	FV414JR		約80万km	6/21	有り	C/L Hsg	有り											
7	FT413N		60,005	6/22	7/1廃却	C/L Hsg	無し											
8	FV411TZ	040607	251,848	6/23	有り	T/M Assy	有り				04年6月5日281848km3速ギヤ鳴りシフト不良にてリンクミッションと換装。6月7日ミッションよりオイルが漏れているとの申し出有り、工場に車両搬入し点検した所、ミッションケース横下付近に亀裂が有るのを発見。亀裂はミッションケースの横下側で、亀裂の長さは50~60mm有り	青森の販社に点検入庫	2004/7/13	2004/7/13	040527	040615	2004/7/13	表 調 査 中 と 発
9	FP424D	040607	337,620	6/28	有り	T/M等	有り				クラッチハウジングリコールにて、対象車両を当工場へ持ち込み。ミッションケース亀裂点検した所(蛍光探傷)、ミッションケース亀裂点検部位下部リブに亀裂が発生しているのを発見。	東京の販社に点検入庫	2004/6/9	2004/6/21	040608	040608	2004/6/21	
10	FV419J	040615	800,115	6/30	有り	C/L Hsg	有り											
11				7/5	有り	C/L Hsg	無し											
12	FV411J	040624	910,475	7/7 *3	有り	T/M Assy 等	有り (全周亀裂)				走行中T/Mのケースが破断し、脱落しようになっているとの連絡有り。レッカー業者にて工場入場。T/Mケースがクラッチハウジング後部で破断し、輪切り状態になっている。プロペラシャフトヨークが抜け落ちて無くなっている。	大宮バイパス宮前町付近	2004/6/25	2004/7/12	040624	040705	2004/7/12	後 日 入 手 部 品
13	FV419PZ			7/8	有り	C/L Hsg	有り											
14	FV419T	040609	422,724	7/12	有り	C/L,ENG 等部品	有り				走行中異音と振動で停車し、点検、ハウジング亀裂有りとの連絡有り。レッカー入庫。T/M Assy脱着内部点検。プロペラシャフトスライダー損傷にて走行不能。	茨城県八千代町	2004/6/15	2004/6/17	040708	040712	2004/6/17	
15	FS416U			7/13	有り	C/L Hsg	有り											
16	FV415J		419,312	7/13	有り	C/L Hsg	有り											
17	FW429M	040611	239,495	7/13 *3	有り	C/L Hsg	有り (全周亀裂)				異音発生。走行中止。クラッチハウジングに亀裂発生し、自走にて修理工場入場	北海道中標津付近	2004/7/14	2004/7/14	040713	040713	2004/7/14	
18	FV415J		623,977	7/13	有り	C/L Hsg	有り											
19	FV415J		16757 (調査中)	7/13	有り	C/L Hsg	無し											
20	FV415J		265,209	7/13	有り	C/L Hsg	無し											
21	FU415U			7/14 (後日開梱)	有り	C/L Hsg	無し											
22	FV414JR	040525	708,074	7/15 (後日開梱)	有り	C/L Hsg	有り				点検実施時、ハウジング亀裂を確認。亀裂部位は後方からみてクラッチハウジング左側下から2番目のボルト付近であり、約9cm位。ユーザに確認した所、プロペラシャフトスライダーにガタがあり、ユーザ側で交換。	千葉の販社へ入庫	2004/7/13	2004/7/13	040713	040714	2004/7/13	
23	FV419J	040618	257,062	7/15 (後日開梱)	有り	C/L Hsg	無し				蛍光探傷液塗布後、ブラックライトにより点検。左指定部ボルト穴付近に発光部を確認	新潟の販社へ入庫	2004/7/14	2004/7/14	040715	040715	2004/7/14	

対象外

24	MU525T	040531	735,623	6/29	有り	部品	有り (全周亀裂)				フィンガーコントロール変速不具合の為工場入庫。クラッチハウジング亀裂、フライホイールハウジング亀裂。T/M取付ボルト下側3本がなく、E/Gマウント取付ボルト(フライホイールハウジング側)も緩んでいた。	京都の販社へ入庫	2004/6/2	2004/6/4	040604	040604	2004/6/4	
25	FT417V	040524	760,719	7/2	有り	T/M Assy					整備担当者より、ミッションケースにキズ有りとの連絡有り、車輛引取り。ミッションAssyにて返品され調査。結果、亀裂無し湯じわと判明。	新潟の販社へ入庫	2004/5/26	2004/6/4	040603	040603	2004/6/4	